

平成19年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査
第2回地域検討会（石川県） 議事概要

日時：平成19年11月29日（木）

14:00～16:00

場所：コスモアイル羽咋 第1、第2研修室

議 事

開会（14:00）

1. 資料の確認
2. 議事
 - ① 第1回地域検討会議事概要及び指摘事項について〔資料1、資料2〕
 - ② 概況調査結果概要について〔資料3〕
 - ③ クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要について〔資料4〕
 - ④ その他調査の進捗状況について〔資料5〕
 - ⑤ 今後の調査スケジュールについて〔資料6〕
3. 全体を通じたの質疑応答
4. その他連絡事項

閉会（16:00）

配布資料

- 資料1 第1回地域検討会（石川県）議事概要（案）
- 資料2 第1回地域検討会（石川県）での指摘事項に対する対応(案)
- 資料3 概況調査結果概要
- 資料4 クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要
- 資料5 その他の調査の進捗状況
- 資料6 今後の調査スケジュール(案)

平成 19 年度漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査地域検討会（石川県）
第 2 回地域検討会 出席者名簿

（敬称略）

検討員（五十音順、敬称略）	
池 田 幸 應	金沢星稜大学人間科学部 教授
泉 敏 克	羽咋郡市広域圏事務組合リサイクルセンター 所長
井 上 卓 造	石川県土木部羽咋土木事務所 所長
浦 上 豊 成	クリーンビーチいしかわ事務局 事務局長
川 井 康 子	羽咋生活学校 代表
坂 本 幸 彦	石川県農林水産部 次長兼水産課長
（代理 栗森 勢樹）	水産課 課参事
末 平 幸 司	羽咋市建設課 課長
西 久 司	羽咋市環境安全課 課長
西 川 孝 蔵	石川県環境部廃棄物対策課 課長
宮 丸 克 巳	国土交通省北陸地方整備局金沢港湾・空港整備事務所 工務課 課長
山 崎 正 幸	海上保安庁第九管区海上保安本部金沢海上保安部 警備救難課 課長
（代理 英 俊彦）	警備救難課 警備係長
オブザーバー（所属機関名）	
環境省	
小 野 寺 秀 明	環境省中部地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課 課長
事務局：日本エヌ・ユー・エス(株)	
内 藤 治 男	環境設計ユニット
北 村 徹	生物科学ユニット
井 川 周 三	地球環境ユニット

議題1 第1回地域検討会議事概要及び指摘事項について（資料1、資料2）

- 1) 資料にクリーンビーチの実施日が来年7月15日となっているが、日にちはまだ決まっていない。

議題2 概況調査結果概要について（資料3）

- 1) 資料にある石川県美川町は、市町村合併で現在は白山市である。訂正すること。

議題3 クリーンアップ調査及びフォローアップ調査結果概要について（資料4）

- 1) 今回の独自調査の体制では、大人数を確保し実施し、作業は十分であったという報告であったが、どうであったか。→委員や座長からの紹介で十二分な作業員を集めていただいて大変助かった。3日の予定の作業が2日半で終わった。
- 2) 今度の調査は12月で、気温も低く波が強く、あられや雪も考えられ、大変な環境の中での人数の確保が大変であると思う。→コドラート周辺の100m幅の優先作業範囲だけでも終わらせるとすれば、何とか調査はできると考えている。
- 3) 人集めをお願いした委員からは、苦勞して人集めをしたという意見を得た。また、砂をはらって分別し、袋の中に入れてつもりでも結構砂が入ったと思う。焼却段階で砂が入っていると機械も大変で、リサイクルセンターも困ったのではという思いがある。→今回調査で回収されたものは、特にこれといった苦情はなかった。他のクリーン運動でのゴミよりも砂は少なかった。
- 4) 今後の体制では、事務局が安全第一を考えており、地元の方にもかなり高齢な方もいるので、その方たちへの説明や準備をどうするのかという問題がある。
- 5) 環境教育、環境講座に関しては、少しでも多くの地域の方々に環境に関して考えてもらいながら実施することを、環境省からも依頼されており、地元の独立行政法人国立能登青少年交流の家を研修会場に準備している。→地元の協力者と学生を対象にスケジュールを組んでいる。12月8日は、昼食後に地域交流会と環境講座として川井委員の話を、夕食の後に学生だけの環境講座を予定。9日の昼に交流会を行って、午後3回目の環境講座を行う予定である。
- 6) 海岸のゴミは、羽咋川の河口にたくさん集まっていて、そのゴミの出所が、河川の上流から来ている可能性もあるので、上流の方々にもお話をするようなことも考える。→源流は七尾市の境で、中能登町を通過するので、行政区域が違うとなかなか理解が得られないのが現状である。→クリーンアップ調査とは別に、その他の調査という調査項目で、広域的な河川の流域での取り組みを検討している。
- 7) バックホーとコンボという表現を使っているが、バックホーに統一する。
- 8) 独自調査で収集した可燃ゴミ・不燃ゴミは、処分場の計量票があるので、その重量を報告書に記載する。

議題4 その他調査の進捗状況について（資料5）

質問・コメント等はなし。

議題5 今後の調査スケジュールについて（資料6）

- 1) 第3回調査は、気象や天候の状況から、今のところ案として2月後半あるいは3月上旬の実施で、調整を事務局とする。

議題6 全体を通じての質疑応答

質問・コメント等はなし。